

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和８年度 第１回近江八幡市青少年問題協議会		
開催日時	令和８年９月２４日（木）１０：３０～１１：５０		
開催場所	近江八幡市役所 ３階 特別会議室１		
出席者 ※会長等◎ 副会長等○	＜委員＞ 徳永委員◎ 安田委員○ 小川哲委員 田中委員 柳生委員 太田委員 石原委員 土井委員 北居委員 山岡委員 大橋委員 小西委員 鷗本委員 大澤委員 八川委員 葛島委員 小川ゆかり委員 （欠席）岡谷委員		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名 教育委員会事務局生涯学習課 万野 電話番号 ０７４８－３６－５５３３ FAX番号 ０７４８－３６－５５６５ メールアドレス 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ 要約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため
内容	別紙の通り		

担当課⇒総務課

会議の概要	1 開会
会長	2 開会挨拶 「子育て環境日本一のまち」をスローガンに掲げていますが、理念は、子どもの育ちと学びをみんなで支えるまちというものです。生きづらさを抱える子どもたちの中には、助けて欲しい、相談に乗って欲しいという言葉を発することもできなくなっているかもしれません。それぞれの団体の長所を生かし、お互い補い合いながら、健やかな成長を見届ける取組をこの協議会を中心に進めていければと思います。本日は子どもたちを取り巻く状況について報告いただきますので、活発に意見交換ができればと思います。
	3 議事（報告・協議、意見交流）＜各機関・団体から報告＞ (1) 青少年に関わる問題の実態について（意見交流等） ①近江八幡警察署生活安全課 ②近江八幡・竜王少年センター（令和7年度実績） ③子ども健康部（令和7年度実績） ④子ども・若者相談窓口（令和7年度実績）
委員	子ども・若者相談窓口の実績について、相談者の割合が、中学生は女性が多く、高校生以上は男性が多いですが、理由はありますか。
事務局	詳細な分析はできていません。若者期も男性の相談者が多いので、中学生年代は関係機関と連携している中で、対象者に女性が多いということになっているのだと思います。
委員	相談が終結しているケースはどれくらいあるのでしょうか。
事務局	相談が終結に至るのは難しい現状です。状況が改善し就職に至った方もいますが、終結に至ったケースはなく、面談日の間隔が伸びる等により、継続して支援している状況です。
委員	外に出かけなくても、子どもたちはSNSで繋がりを持っています。海外ではSNSの年齢制限の話もありますが、スマホを通じて犯罪に巻き込まれている状況もあると思います。現場の実態としてはどうでしょうか。
委員	いじめや、その前兆になるものにはSNSの書き込みから始まっているものも多いと思います。SNSを通じて犯罪に手を染めている状況もあります。

委員	スマホの所持率は高いですし、子ども同士のSNSを通じたトラブルもありました。親御さんも相談に来られることもあります。適切な活用との間で工夫しながら対応されていて、非常に難しい問題だと思います。
会長	今日的な課題だと思います。SNSは悪いことばかりではないので、プラスの面もあり、バランスが大事だと思います。
委員	不登校から抜け出すときに、家にいても不便がない、外出する必要がないということが、一番の問題なのかもしれないと意見交換したこともあります。SNSを全く使わないことが良い訳でもなく、社会に出ていく中で使っていくことも大事だと思います。SNSの使い方講習を企画しても、子どもたちは何度も聞いていて、実感がなく、どうしたら伝わるのか悩むところです。DVDや有害図書の回収だけでなく、子どもたちが目にするようなインターネットの有害サイトやバナー広告の被害状況も調べていただけたらと思います。
会長	実態としてスマホの利用時間が1日4時間以上にもなるのであれば、お風呂とご飯以外はずっとスマホを触っていることにもなり、非常に大きな課題です。
委員	少年非行が減っているという報告がありましたが、対応している保護観察者の半数以上は少年です。この状況は変わっていないので、突き詰めて考えていかないといけないと思います。やっとならなければいけないことをわきまえられる人間になるよう、小さい頃から規範意識を伝えていかないといけないと思います。 (2) 子ども・若者育成支援について（報告） ①子ども・若者育成支援事業について
委員	先ほどの議題にあった問題に対応するために、この取組を生かすのも一つの方法だと思います。この活動をインターネットで発信いただきたいと思います。
事務局	若者はインターネットで情報を得ていますので、SNS等を活用して発信していきたいと思います。
会長	本日頂きました意見をしっかりと胸に刻んで、前に進んでいきたいと思います。それぞれお互い有機的に連携しながら、子どもたちの健

副会長	やかな成長に向かって、みんなで考えていきたいと思います。 4 閉会挨拶 子どもたちへの支援は、学校教育、家庭教育、社会教育のバランスが取れた中で、子どもたちに寄り添った対応が必要です。今年度から家庭教育支援コーディネーターを配置し、アウトリーチ型の寄り添う支援に取り組んでいます。また、子どもたちの社会参画に寄り添う子ども・若者育成支援の取組についても、皆さまのご支援をお願いいたします。本日のご意見を踏まえまして、しっかりと連携をしながら、子ども・若者の支援に取り組んでいきたいと思っています。
------------	---